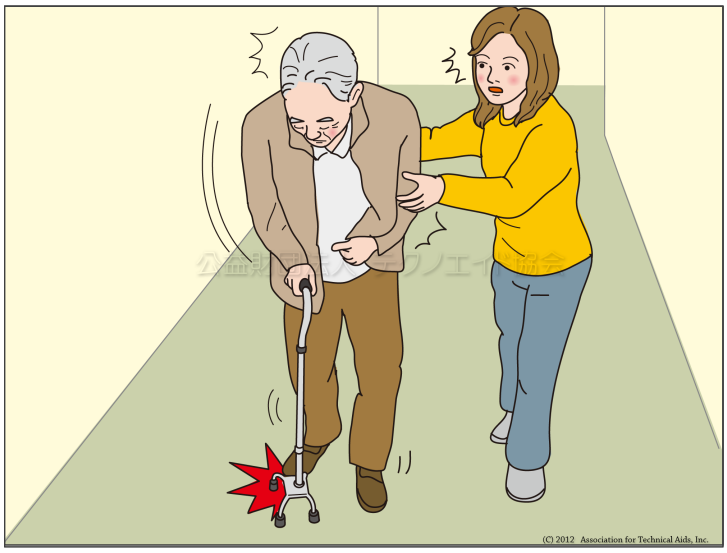
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：250
ふらつきのためベースにつまづき、転倒しそうになる

場面の説明

利用者の足元がおぼつかず、歩行中に四点杖のベースにつまづいてしまい、転倒しそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	歩行補助杖
分類コード (CCTA95)	120318 (四脚杖)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

多点杖はベースとなる面が広く歩行を安定させますが、一方で足に近く不安定な歩行では足が絡んだり、また杖を送るときに足にぶつけてしまったりということもあります。歩行の状態とそれに合う歩行補助用具について、さらには歩行する場所の広さなど環境について、総合的に考え適合を図って利用することが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：体調が悪いのに無理して歩行していた
人：一本杖の感覚で使用した
管理：歩行の能力と歩行補助用具の適合について検討し安全を管理できる体制が整っていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：250

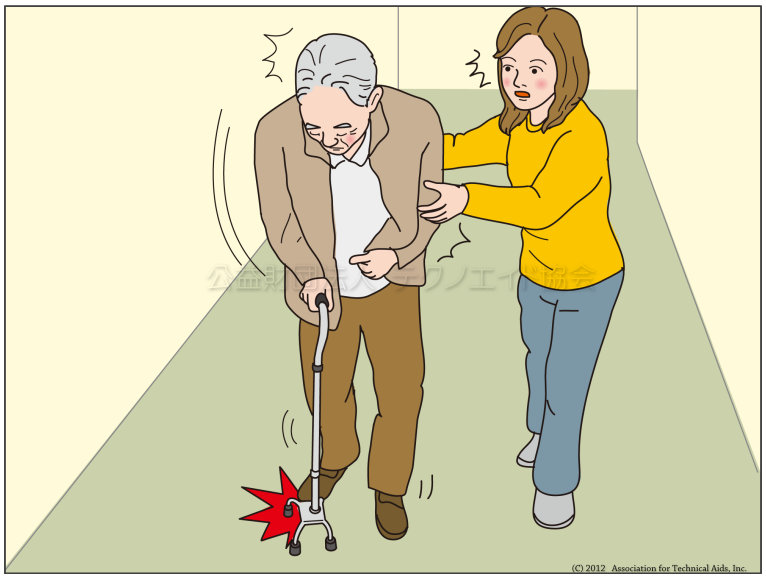
ふらつきのためベースにつまづき、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

利用者の足元がおぼつかず、歩行中に四点杖のベースにつまづいてしまい、転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.